

長野市

# 「銀座」とのコラボ酒第2弾

## 純米吟醸と純米大吟醸発売

長野市と東京・銀座のNPO法人「銀座ミツバチプロジェクト」

の交流により生まれた日本酒「積善GINZA A(せきぜんぎんざ)」の2季目が1日、市内の酒販店や銀座NAGANOなどで発売を開始した。長野市の大岡地区で育てられ、昨秋に銀座の約20人が参加し酒米「ひとこし」約2・8tを収穫、西飯田酒造店(長野市篠

ノ井小松原)が純米吟醸と純米大吟醸の2種類を醸造した。1月23日に行った新酒発表会では、同店の飯田一基さんが「リングとナデシコの酵母2種類をブレンドして製造した。純米吟醸は香りが高く、力強い味わいがある。純米大吟醸は味わいがクリアで、甘さの余韻が長い」とアピール。同プロジェクトの田中淳夫理事長

は「お酒が皆に愛されて、長く続いてほしい」と話していた。価格は720ml瓶で、純米吟醸が1本1900円、純米大吟醸が2700円。純米吟醸は千本、純米大吟醸は600本出荷する。同事業は、2016年から同市とグリーン長野農協(同市)、同プロジェクト、同酒造店の4者が共同し「大岡で銀座とお酒づく

り」事業をスタート。1季目醸造の純米大吟醸酒は約千本が製造され、市内のほか、銀座の百貨店「松屋銀座」やバーなど10店近くで取り扱っている。

約2・8tを収穫、西飯田酒造店(長野市篠

ノ井小松原)が純米吟醸と純米大吟醸の2種類を醸造した。1月23日に行った新酒発表会では、同店の飯田一基さんが「リングとナデシコの酵母2種類をブレンドして製造した。純米吟醸は香りが高く、力強い味わいがある。純米大吟醸は味わいがクリアで、甘さの余韻が長い」とアピール。同プロジェクトの田中淳夫理事長

は「お酒が皆に愛されて、長く続いてほしい」と話していた。価格は720ml瓶で、純米吟醸が1本1900円、純米大吟醸が2700円。純米吟醸は千本、純米大吟醸は600本出荷する。同事業は、2016年から同市とグリーン長野農協(同市)、同プロジェクト、同酒造店の4者が共同し「大岡で銀座とお酒づく

り」事業をスタート。1季目醸造の純米大吟醸酒は約千本が製造され、市内のほか、銀座の百貨店「松屋銀座」やバーなど10店近くで取り扱っている。

の百貨店「松屋銀座」やバーなど10店近くで取り扱っている。

【二ノ宮奈美】



新酒発表会で今季の「積善GINZA」をPRする(左から)飯田さん、田中理事長、加藤久雄市長、グリーン長野農協の神農佳人代表理事組合長